

平成20年9月5日

高知県病害虫防除所より露地及び施設野菜、花き、ダイズなどの害虫、ハスモンヨトウに関する注意報が発令されましたので、お知らせします。

平成20年度病害虫発生予察注意報第2号の発令について

病害虫発生予察注意報は、重要な病害虫の多発生が予想され、早急に防除措置を講ずる必要が生じた場合に発令する情報です。

病害虫名：ハスモンヨトウ

作物名：露地野菜、ダイズ、施設野菜、花き類、飼料作物など

県内のサトモほ場での卵塊調査(8月下旬)は、ここ数年で見るとかなり多く、特に県東部の密度はかなり高くなっています。

フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は、地域によってばらつきがありますが、中央部から西部にかけては平年並からやや少ないものの、県東部では平年よりかなり多くなっています

向こう一ヶ月の気象予報では、気温は高く降水量は少ないと予想されることから、今後密度はさらに増加傾向で推移すると思われます。

防除対策として、防除薬剤は県の病害虫防除指針に従い、1回の薬剤散布で効果が十分でない時は、同一薬剤の連用を避けながら、約7日間隔で数回散布してください。中老齢幼虫になると薬剤の防除効果が低下しますので、若齢幼虫期に薬剤散布を行いましょう。

また、産み付けられた卵塊の除去や幼虫の捕殺は、密度の低減に効果があります。

黄色防蛾灯の設置は成虫の飛来防止に有効で、施設栽培ではハウスサイドや天窓へ防虫ネットを被覆すると成虫の侵入を防止することができます。

お問い合わせは、病害虫防除所：西、岡（TEL.863-1132）または、環境農業推進課：朝比奈、門田（TEL.821-4861）まで。